

完全
保存版

あなたの街の
頼れる病院が
見つかる!

医療新聞社

『名医のいる病院2018』に掲載されました。

巻頭特集

- 画像診断とAI
- 次世代を担う
低侵襲手術の名医たち
- 脳梗塞の早期治療のために



脳・心臓・がんの名医283名

西日本 愛知県～沖縄県

独自徹底調査!
最新手術実績を一挙掲載

胃がん/大腸がん/肺がん/乳がん
肝がん/脳動脈瘤/脳梗塞
心臓手術/心カテーテル治療
大動脈瘤/変形性頸動脈症
変形性股関節症/腰部脊柱管狭窄症
眼の病気/回復期リハビリ

医療新聞社



手術実績で探す 名医のいる 病院 2018

完全保存版

あなたの街の頼れる病院が見つかる!

皮膚科は、皮膚に関するあらゆる疾患に対応する診療科です。皮膚の疾患は、皮膚炎や湿疹、やけどや傷など皮膚創傷といった軽度な症状から、皮膚がんのように命に関わる症状までさまざまです。多くの場合、軽度の疾患については開業医で、重度の疾患については病院で、それぞれ治療が行われます。

また、皮膚は内臓の鏡といわれており、がんや肝臓の病氣、糖尿病などの疾患を患っているば、皮膚にも何らかの症状が現れてくる場合があります。そのため、皮膚の状態から内臓の病気が見つかることもあります。

皮膚疾患の治療は、基本的に外用薬、内服薬、光線療法などが用いられます。

光線療法は、病変に紫外線を照射する治療法です。紫外線は、波長の長さによって3つに分離され、中でも皮膚の細胞増殖や炎症を抑える働きのあるUVA（長波長）とUVB（中波長）が治療に用いられます。現在では、アトピー性皮膚炎に加え、乾癬、尋常性白斑など皮膚疾患に対して広く行われるようになっており、今後もさらなる進

展が期待されています。また、アトピー性皮膚炎に対する免疫抑制剤や、乾癬に対する分子標的薬などが開発されています。

ただ、内服薬には副作用があり、紫外線を肌に直接照射する光線療法にもリスクがないとはいきません。また、内服薬、外用薬、光線療法の実施は、時期に組み合わせると、症状を前後して行ったり、状態によって治療方針が異なります。そのため、専門的な知識を持ち、経験も豊富な医療機関を受診し、患者一人ひとりの症状やライフスタイルに応じた適切な治療を受けることが望ましいでしょう。

皮膚に関するあらゆる疾患を治療



院長 戸田 憲一
日本皮膚科学会認定
皮膚科専門医

皮膚疾患のうち、原因が明らかになつていない難治性皮膚疾患には、アトピー性皮膚炎や乾癬などが挙げられます。皮膚が鱗のような「鱗屑」となつて剥がれ落ちる乾癬は、重症になると鱗屑の量も多くなり、生活に多大な影響を及ぼします。

難治性皮膚疾患への光線療法

皮膚科 扇町公園皮膚科クリニック
髪・肌・爪、気になるお悩みご相談ください
京都大学皮膚科教授兼職員を含む、6年皮膚科診療を実践してまいりましたが、その経験を引き継ぎより地域医療に密着した形で役立てたいとの思いから、病院を閉じた次です。

様々な皮膚疾患が知られていますが、慢性で経過し、難治し、QOL(クオリティ・オブ・ライフ)を大きく損なうものも多く見られます。標準治療に準拠しながらも、皆様の個別の病状や生活環境にも思いを寄せ、適切な医療が実施できることを目指したいと思えます。皮膚症状でご相談がありますら、どうぞ必ずまずにお気軽にお立ち寄りください。【専門:乾癬、アトピー性皮膚炎、皮膚病態治療、血管新生、皮膚科学】

皮膚疾患の最新治療

つらい皮膚の悩みを解消しO・I向上を目指す。